

平成20年8月5日

各 位

上場会社名	株式会社 タカラトミー
代表者	代表取締役社長 富山 幹太郎
(コード番号	7867)
問合せ先責任者	執行役員管理本部長 田島 省二
(TEL	03-5654-1280)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(単位:百万円、%)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	90,000	1,000	1,000	600
今回発表予想(B)	88,000	1,700	2,100	1,600
増減額(B-A)	△2,000	700	1,100	1,000
増減率(%)	△2.2	70.0	110.0	166.7
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	88,221	1,976	2,030	1,847

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	38,000	600	600	500
今回発表予想(B)	38,000	1,900	2,200	1,900
増減額(B-A)	—	1,300	1,600	1,400
増減率(%)	—	216.7	266.7	280.0
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	34,912	1,350	1,715	1,443

修正の理由

(1)連結業績の予想について(第2四半期連結累計期間)

連結業績につきましては、株式会社ユージンおよび同社子会社が再建途上にあること、玩具菓子を取り扱う株式会社すばる堂が市場縮小、ヒット商品不在により売上不振となっていること、さらにトイズユニオン株式会社ではテレビゲーム関連商品の取扱量が減少していることなど、一部のグループ会社の売上高が減少傾向にあることから、第2四半期連結累計期間の売上高は当初見通しを下回る見込みとなりました。しかしながら、利益面においては、後述のとおり、株式会社タカラトミーの利益が大幅に拡大していることなどにより、第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び四半期純利益は、前回発表の業績予想値を上回る見込みであります。

(2)個別業績の予想について(第2四半期個別累計期間)

個別業績につきましては、国内景況感の悪化により個人消費が低迷している中、「トミカ」、「プラレール」などの定番商品が堅調に推移し、トレーディングカードゲーム「デュエル・マスターズ」や「トランスフォーマー」が引き続き好調に売上を伸長させていることから、第2四半期個別累計期間の売上高は当初見込みを確保できる見通しであります。利益面においては、各種ロイヤリティ収入の増加、販管費の圧縮・重点配分などにより、第2四半期個別累計期間の営業利益、経常利益及び四半期純利益は、前回発表の業績予想値を大幅に上回る見込みとなりました。

(3)通期業績見通し(連結・個別)について

通期の業績予想値に関しましては、最大商戦期である年末商戦の動向等不確定要因があるほか、さらなる景況の悪化、原材料価格の高騰など利益圧迫要因が増大していることから、連結・個別とも、平成20年5月13日に発表した当初業績予想値を変更しておりません。

【業績等の予想に関する注意事項】

この資料に記載されております業績等の予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しており、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上